

医療用品 4 整形用品  
一般医療機器 歯科用咬合スプリント 36311000

## スプリント材 ダブル

### 【形状、構造及び原理等】

[形状] 円形の薄い板状

[寸法] 直径120mm

[厚み] 2mm、3mm、4mm

[構造]

PETGからなる薄い硬質ディスクとEVA材からなる薄い軟質ディスクが、あらかじめ接着され、表裏一体になっているシート材

厚み	硬質面の厚さ	軟質面の厚さ
2mm	1.0mm	1.0mm
3mm	1.5mm	1.5mm
4mm	1.0mm	3.0mm

片面（硬質材側）は分離用フィルムで覆われている。

[原材料]

硬質面：PETG（ポリエチレンテフタレート）

軟質面：EVA（エチレンビニルアセテート）

### 【使用目的又は効果】

歯牙の咬合面を被覆する硬性又は柔軟性のある器材をいう。転位歯又は動揺歯の位置の保持、クレンチング（噛みしめ癖）や歯ぎしりとその後遺症の治療、及び筋肉又は顎関節の疼痛、例えば顎関節症に対する暫間的な除痛に使用される。ただし、本品により作成された装具の使用時間は、30日を超えないこと。

### 【使用方法等】

- 成型器内に収まるよう石膏模型の基底面を削る。
- 本品硬質面にあるフィルムは剥がす必要がなく、付いたまま本品と一緒に加工できる。また、このフィルムの働きにより、模型の分離材は不要である。ただし、パキューム成型器使用の場合は、分離フィルムを剥がして使用すること。
- 使用する成型器の取扱説明書及び添付文書に従い、成型器内に本品と模型をセットして、本品を成型する。フィルムのある側が模型に接するように本品をセットすること。加熱時間終了時には、熱され軟化した本材が模型上に垂れ下がってくるので、それが模型の切端に掛かる時に加圧を開始し、本品を模型に圧接する。
- 加圧したまま放冷し、本品が十分に冷めた後、成型器から取り出して、模型から外し、通法に従って形態修正を行う。

### 【使用上の注意】

- 加熱・放冷時間は、本材の厚さや使用する成型器により異なる。成型器の取扱説明書及び添付文書を熟読の上、本品を使用すること。
- 本品の硬質面にある分離フィルムは剥がさず、付けたまま本品と一緒に加工すること。ただし、パキューム成型器使用時は、フィルムを剥がすこと。
- 加熱時に分離フィルム側をヒーターに当てないこと。
- 本品を炎に直接かざさないこと。
- 一度でも加熱・加圧したことのある本品を利用すると精度を欠く製作物になるおそれがあるため、再利用しないこと。
- 破損、欠け、変形等の原因となるため、本品に必要以上の力を加えないこと。
- 本品を切断する際は、よく熱したメス等を用い、表面が滑るため、十分に注意して切ること。
- 本品を切り出し又は研磨する際は、保護メガネ等を着用し、目の損傷を防ぐこと。
- 本材の硬質面は即重材と併用できるが、軟質面にはモノマーやアルコールを含む材料を接触させないこと。

- 使用後はもちろん使用中も、本品を使用分だけ出した後はすぐに包装の内袋を閉じて密封すること。
- 本品は湿気を吸収するため、包装の内袋から出した後、すぐに使用すること。湿気を吸うと気泡を生じるおそれがあるため、乾いた環境で用いること。
- 使用前の本品に傷、変形等の異常を発見した場合には、使用せずに販売元に連絡すること。
- 本品により作製したスプリント等装具の使用期間は、30日を超えないこと。
- 本品又は類似の成分に過敏症の既往歴のある術者は、本品を使用しないこと。また、そのような患者に対して、本品で作成した装具を使わないこと。
- 本品の使用や皮膚接触により、眼、皮膚、呼吸器、口腔内外に炎症やアレルギーが発症した患者又は術者は、使用をすぐに中止し、専門医の診断を受けること。
- 本品を廃棄する場合は、「廃棄物処理に関する法律」に従い、適切に処理すること。

### 【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- 直射日光及び多湿を避けて、室温で保管すること。
- 使用後は内袋の口を閉じ、購入時の箱に入れて保管すること。

[有効期間]

製造日より2年

包装に表示された日付までに使用すること。

（表示の使用期限は製造元による。）

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業：**リンカイ株式会社**

住 所：東京都新宿区南元町19番地 信濃町外苑ビル3階  
電 話：03（3359）4321

販 売 元：大榮歯科産業株式会社

住 所：大阪府大阪市西区京町堀1丁目10番17号  
電 話：06（6441）3332

製造業者：Dreve Dentamid GmbH

製造国：ドイツ